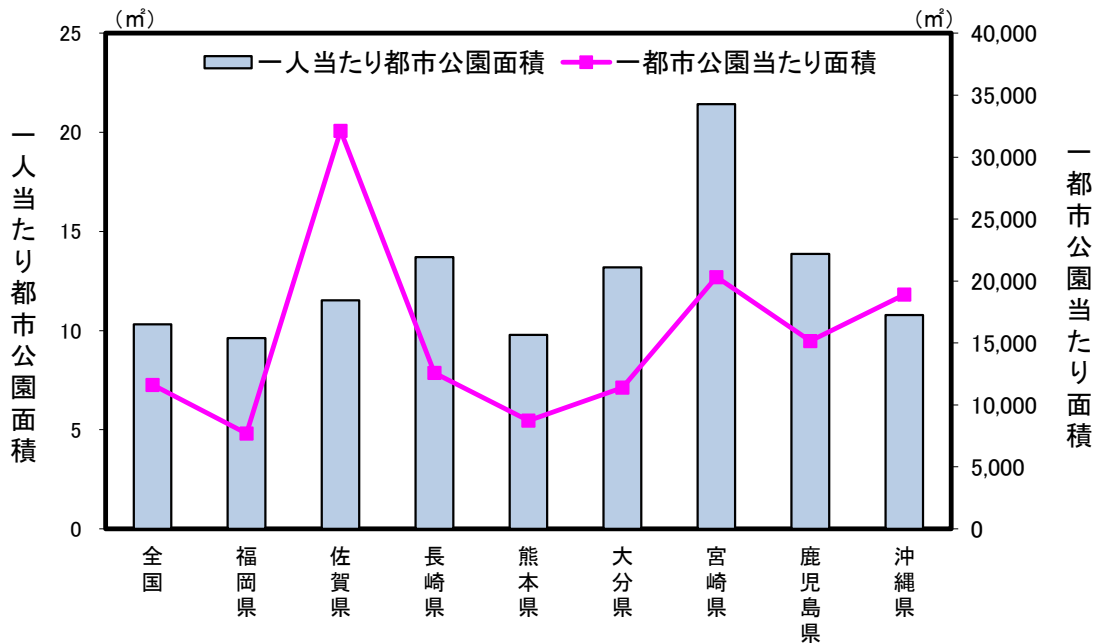


九州・沖縄各県の都市公園面積比較(平成28年3月31日現在)



解 説

【概要】

平成28年3月31日現在の県内都市公園数は1,699か所(全国106,849か所)、また、都市公園面積は1,483ha(全国124,125ha)である。

人口一人当たりの都市公園面積を比較すると、全国平均と近い水準にある。また、九州内では宮崎県がもっとも広い。

○都市公園

都市公園とは、国及び地方公共団体が設置する都市計画施設である公園及び緑地又は地方公共団体が都市計画区域内に設置する公園や緑地であり、次のように区分されている。

街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、広域公園、レクリエーション都市、特殊公園、緩衝緑地、都市緑地、緑道、国営公園

※東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県、福島県の一部地域は平成21年度末の数値を使用

○都市公園の役割

- (1) 地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全による良好な都市環境の提供
- (2) 震災時の避難地、避難路、延焼防止、復旧・復興の拠点
- (3) 子供からお年寄りまでの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動等多様な活動の拠点
- (4) 地域間の交流・連携の拠点

○一人当たり都市公園面積

都市公園面積÷都市計画区域内人口

○一都市公園当たり面積

都市公園面積÷都市公園数

※各都道府県値は特別区、政令市を含めたもの。

資料出所	調査期日	調査周期
国土交通省資料	平成28年3月31日	毎年